

# 施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	5	快適な生活環境づくり		
	施策	5	下水道等		

## 1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 快適な生活環境の形成と河川等の水質保全のために、名張市下水道整備マスタープランに基づき、公共下水道の新規整備や住宅地汚水処理施設の接続移管をはじめ、地域の状況に応じた合理的な整備手法により下水道事業を進めます。また、各汚水処理施設の適正な維持管理や持続的な事業管理に取り組みます。

## 2. 令和2年度の取組内容及びその成果



### 整備計画

・公共下水道中央処理区においては、第2期事業では整備促進とともに未整備地の整理を行い、第3期事業では下水道区域の拡大整備(美旗地域)に向けた管渠詳細設計や、将来公共接続を予定している住宅地汚水処理施設の調査に取り組みました。

また、中央浄化センター増設事業(生活排水処理施設の新設及び水処理施設の増設)については、日本下水道事業団と実施協定を締結し、事業団発注により建設工事(第1期)の土木・建築業者との契約が完了しました。

### 維持管理

・令和2年度に南部処理区4住宅地(つつじが丘、百合が丘、春日丘、南百合が丘)を公共下水道区域へ変更したことにより、令和元年度に策定した

下水道ストックマネジメント計画(中央処理区)を新たに再構築し、下水道ストックマネジメント全体計画を策定しました。

・農業集落排水処理施設については、名張市第1期地区(黒田、田原、美旗東部)において交付金事業を活用し、美旗東部地区及び田原地区の汚水処理施設内の機器更新工事等を実施しました。

### 事業運営

・令和2年度から下水道事業の会計を官公庁会計から公営企業会計へ移行し、資産と損益の状況を把握して、経営状況の明確化を図りました。また、移行後の経理上の処理方法の課題などを整理しながら、円滑な事業運営に取り組みました。

## 3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
生活排水を適切に処理する環境が整備されていると思う市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	80.7	
	成果	77.9	81.1	78.1	82.4			100.0%
公共下水道を利用できる市民の割合(人口普及率)(中央処理区)(%)	目標	-	-	-	-	-	36.1	
	成果	31.6	33.2	33.5	34.6			66.7%

## 4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



### 整備計画

・中央処理区第2期事業区域においては、様々な理由による未整備地の早期解消、第3期事業については公共下水道接続を予定している住宅地汚水処理施設の老朽化の進行から、接続に向け不明水対策が課題となっています。

### 維持管理

・下水道ストックマネジメント実施計画(中央処理区)に基づき、桔梗が丘第1処理区分内の管渠更新工事を実施するとともに、南部処理区4住宅地についても包括した下水道ストックマネジメント実施計画を策定する必要があります。

・農業集落排水処理施設においては、経年劣化が進む名張市第2期地区(滝之原、薦原、川西)の機能強化対策事業に係る計画書を策定する必要があります。

### 事業運営

・公営企業会計へ移行したことにより、将来にわたって下水道サービスの提供が安定的に継続できる事業運営が求められます。今後は企業債償還金の増加や、公共下水道区域の拡大整備による事業推進に加え、施設の老朽化に伴う更新費用や維持管理費の増加が見込まれることから、持続可能な事業運営のため、中長期的な視野に基づく計画的な経営に取り組む必要があります。

## 5. 分析結果を踏まえた施策の取組内容(令和3年度以降)



### 整備計画

・第2期事業では、未整備地の問題解決について部内で協議し、早期解消に向けて取り組みます。

・第3期事業では、未普及地域の測量設計を行い、同時に幹線管渠工事を進めます。また、老朽化が進行する住宅地汚水処理施設を含む既存施設の調査検討を行い、施設管理者等との協議を早い段階で取り組み、地域特性を踏まえた整備手法や区域設定を検討し、公共下水道への早期整備に取り組みます。

### 維持管理

・令和3年度に策定する下水道ストックマネジメント計画に基づき、点検・調査結果(情報)から修繕・改築計画(5ヵ年計画)を新たに策定し、令和4年度以降に計画する南部処理区についても、修繕・改築工事に取り組みます。

・農業集落排水処理施設の名張市第2期地区(滝之原、薦原、川西)の機能強化対策事業に係る計画書の策定に取り組みます。

### 事業運営

・平成3年度に、平成28年度策定済みの官公庁会計による経営戦略を公営企業会計の観点から見直します。公営企業会計として初めての決算情報が明らかとなり、経営状況の分析が可能になることから、下水道事業の財政状況を的確に踏まえた上で、下水道事業一体とした経営戦略とし、中長期的な投資試算と財源試算を行い、将来にわたり安定した下水道サービスの提供が可能な事業運営に取り組みます。

施策を構成する主な事務事業

\*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

\*R2決算見込は、R1からの繰越額も含みます。

\*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

\*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	浄化槽設置費等補助金	上下水道部	経営総務室	生活排水等を処理する合併処理浄化槽の設置と適正管理を進め、公共用水域の水質汚濁防止を図るため、浄化槽設置に係る補助金を交付しました。 (令和2年度実績) ・新築分 6基 900千円 ・転換分 2基 300千円 ・単独処理浄化槽の撤去 1基 90千円 ・単独処理浄化槽からの配管 1基 60千円 ・くみ取りからの配管 1基 60千円 合計 1,410千円	1,410	780	3,000	1,550
下水道事業会計	下水道事業会計	上下水道部	経営総務室	○地方公営企業法適用に伴い、R2年度より農業集落排水事業特別会計、公共下水道事業会計を廃止し、下水道事業会計となりました。  ・中央処理区面整備、幹線管路整備等 ・施設管理、管渠修繕工事等 ・中央浄化センター増設事業(Ⅰ期) ・農業集落排水処理施設機能強化対策事業(名張市第1期) ・既設戸別浄化槽の維持管理  (令和元年度繰越分) 資本的支出 267,773,400円 (令和2年度実績) 収益的支出 2,789,948,302円 資本的支出 936,360,748円  【参考】 継続費通次繰越 98,440,000円 繰越額 529,847,000円	3,994,082	741,924 (一般会計からの繰入金)	5,923,004	731,619 (一般会計からの繰入金)